

4回シリーズ  
第2回

信州自遊塾第32回講座

# 何がちがいの？日本とドイツ ードイツから学ぼうー

第2回

「平和・教育・戦後処理」

2018年6月9日(土)

14:00~16:30 13:30開場

松本中央公民館Mウイング 3-2

〒390-0811 松本中央1-18-1

[定員120名]

信州自遊塾会員・長野県日独協会会員 : 無料

一般 : 500円

詳しくは裏面をご覧ください。

designed by freepik.com

主催:信州自遊塾 共催:長野県日独協会

後援: 松本市・安曇野市・塩尻市・信濃毎日新聞社・市民タイムス

問合せ/申込み

090-4463-6182(くぼた) 090-4911-8209(まつもと)

信州自遊塾HP <http://www.jiyujuku.org/> 「講座申込フォーム」  
or FAX 0263-77-5437 (一般の方は連絡先をご記入ください)

**事前質問を受付けます!**

申込フォーム又はFAXにて  
お寄せください。質疑応答  
の時間に回答します。  
※すべての質問に対応する  
ものではありません。

4回シリーズ 何がちがうの？日本とドイツ —ドイツから学ぼう—

ドイツといえば、マジメで勤勉な国民性が日本と似ていると言われます。日本はかつてドイツから立憲制度・西洋医学・哲学・文学・ものづくり・山岳スポーツなどを学び、多くの影響を受けてきました。そのドイツに、いま改めて目を向けてみると、戦後処理、教育、働き方、環境やエネルギー問題、平和についての考え方などに日本との違いがあるのではないかと感じます。

4回のシリーズを通して、食や音楽などの楽しみも交えながら、多方面からドイツと日本の違いを見つめ、私たちの暮らしに活かせることは何かを一緒に考えてみませんか？ ドイツ在住者やドイツに詳しい人からのお話しをお楽しみに！



那須田 淳(なすだ・じゅん)

作家 1959年、浜松に生まれ、幼少期を吉祥寺と鎌倉で過ごす。早稲田大学卒業後まもなく作家デビュー。ミュンヘン国際児童図書館に奨学研究者として招かれたのを契機に、1995年からドイツベルリン市に在住。主な著作に、『ペーターという名のオオカミ』（小峰書店・産経児童出版文化賞、坪田譲治文学賞）、『一億百万光年先に住むウサギ』（理論社）、『願かけネコの日』（学研）、『星空ロック』（あすなろ書房・ポプラ文庫ピュアフル）や、M・ゾーヴァとのコンビで画文集『少年のころ』（小峰書店）、絵本『魔笛』（講談社）など多数。翻訳に木本栄との共訳で『ちいさなちいさな王様』（ハッケ著・ゾーヴァ挿画、講談社）や『新訳・飛ぶ教室』（ケストナー著、角川つばさ文庫）など多数ある。会員雑誌『鬼ヶ島通信』編集長。日本ペンクラブ「子どもの本」委員会副委員長、「国際」委員。日本国際児童図書評議会理事。ベルリン日本語補習授業校理事長。青山学院女子短期大学と和光大学で非常勤講師として「創作」と「子どもの文学」を教える。



パネリスト 又坂常人

信州大学名誉教授  
元信州大学法科大学院教授(行政法専攻)



パネリスト Marei MENTLEIN マライ・メントライン  
翻訳・通訳・エッセイスト。シュレースウィヒ=ホルシュタイン州キール出身。NHK語学番組『テレビでドイツ語』『まいにちドイツ語』に出演。駐日ドイツ大使館ブログにて記事を執筆。



コーディネーター 松本 猛  
信州自遊塾塾長  
ちひろ美術館常任顧問・作家・美術評論家  
横浜美術大学客員教授

第2回 「平和・教育・戦後処理」

2018年6月 9日(土)

14:00~16:30 13:30開場

松本市中央公民館 Mウイング 3-2

[定員120名]

【第1部】

ベルリン在住児童文学作家 那須田 淳さんのお話

「歴史に学ぶ、ドイツの子どもたち。  
ベルリンの暮らしの中で感じたこと」

【第2部】

那須田さん with 又坂常人さん・マライ、メントラインさんによる

トークセッション & 質疑応答

コーディネーター松本 猛塾長

「平和・教育・戦後処理」

=4回シリーズのスケジュール=

- 第1回 4月8日(日) 済  
「ドイツの暮らしと日本の暮らし」
- 第2回 6月9日(土)  
「教育・平和・戦後処理」
- 第3回 8月  
文化を楽しもう♪「食とビールと音楽と」
- 第4回 11月  
「環境・自然エネルギー・原発」

詳細は順次公開、HPでもお知らせします。(信州自遊塾で検索！)

第1回のレポート(動画あり)はHP公開準備中。



~これからの人間の生き方を考えよう~

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>